

「都市公園の柔軟な管理のあり方に関する検討会」  
ご説明資料

森ビル株式会社

2022.03

## 森ビルの環境・緑化の取り組み





空に希望を。  
地上に緑を。  
地下に喜びを。

森ビルは50年。世の中に元気とゆとりをもたらす都市づくりへ、さらに挑戦します。

挑戦するから調和が生まれる。空中・地上・地下、それぞれに最適な役割を担う「垂直園」の都市構築をつくる。地上に緑をとり戻すために、空と地下を活用する。すると、人にも環境にも、無理なく、やさしく、豊かな生活をもたらす画期的な場が出現する。私たち森ビルが求めていく、これが「ヴァーティカルガーデンシティ(立体緑園都市)」の理想です。







アークヒルズ (1986年)



六本木ヒルズ (2003年)



愛宕グリーンヒルズ (2001年)



虎ノ門ヒルズ (2014年)





サントリーホールの屋上「ルーフガーデン」(アークヒルズ)





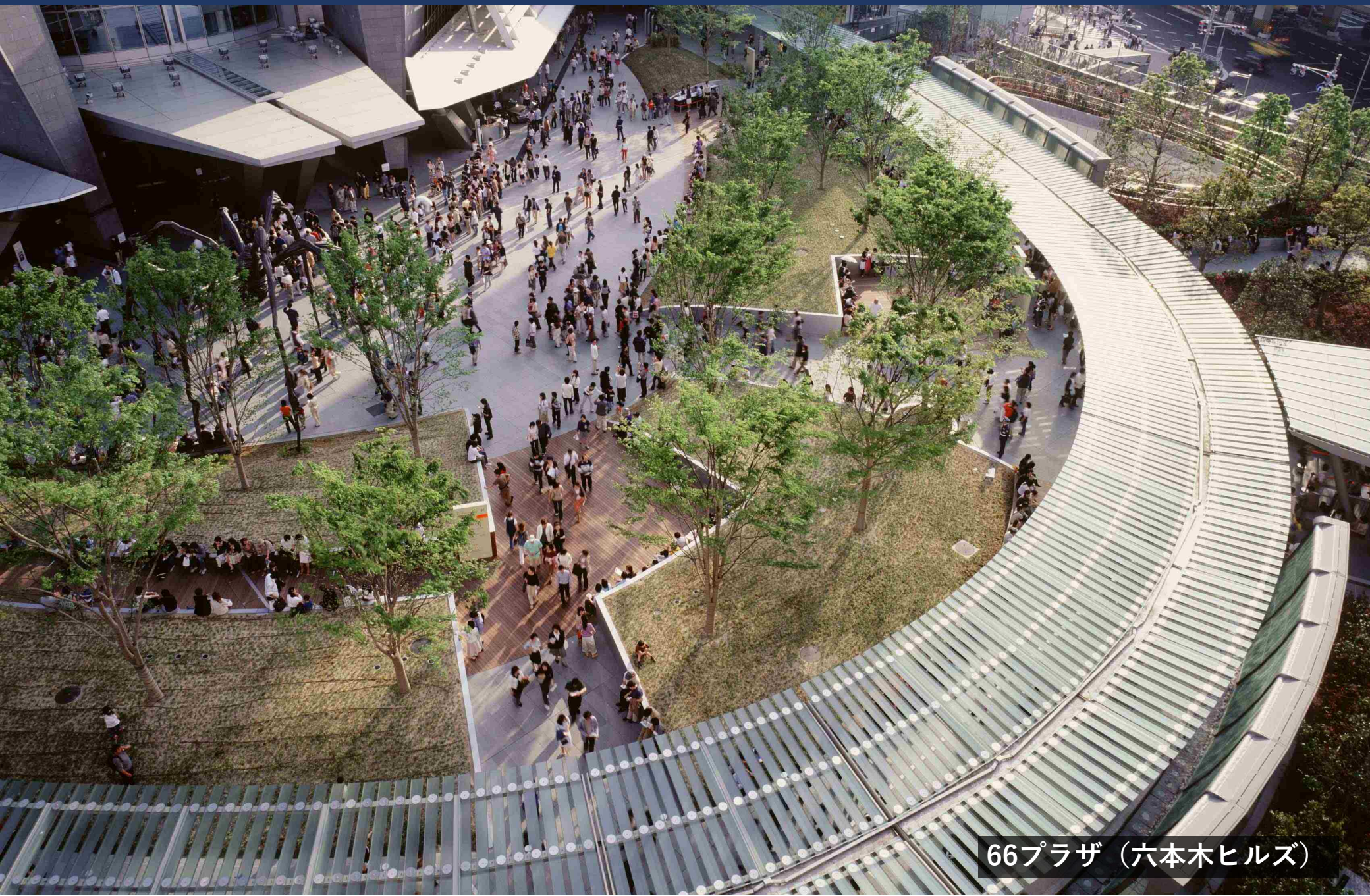
アークタワーズ屋上緑化





毛利庭園（六本木ヒルズ）





66プラザ (六本木ヒルズ)





さくら坂公園（六本木ヒルズ）





愛宕グリーンヒルズと青松寺







# MODERN URBAN VILLAGE

緑に包まれ、人と人をつなぐ「広場」のような街



# GREEN

圧倒的な緑に囲まれ、  
自然と調和した環境



# WELLNESS

多様な人々が  
人間らしく生きられるコミュニティ





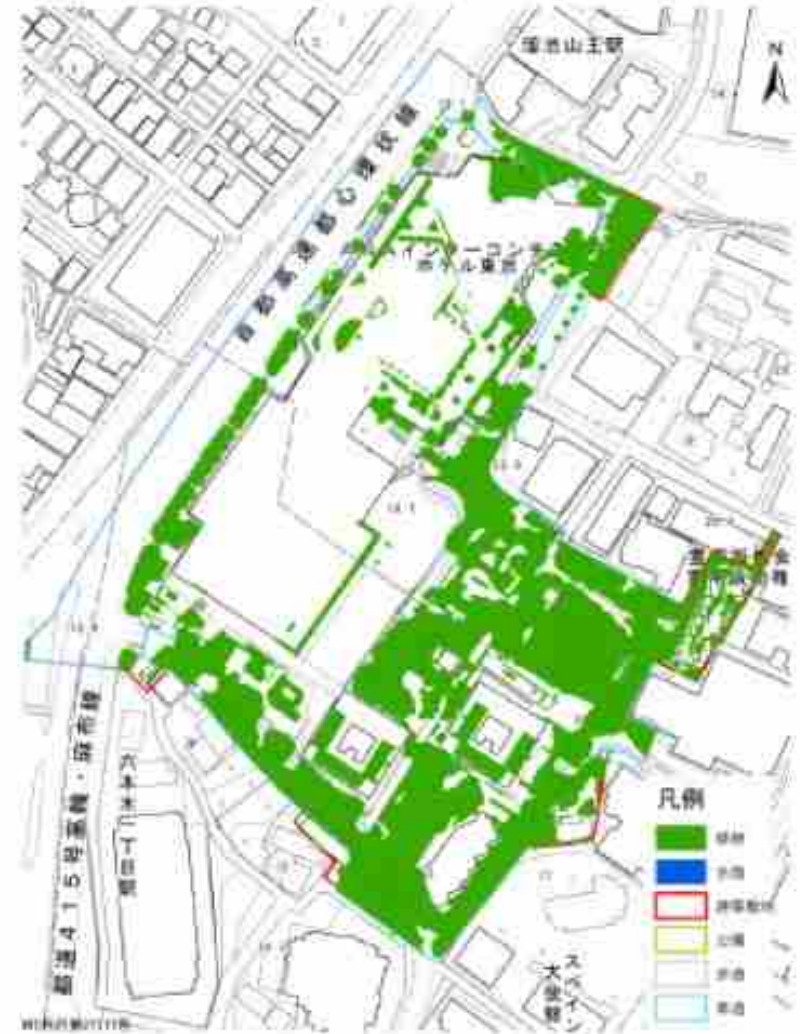








1990年  
23.3% (1.15ha)



2021年  
**42.1% (2.08ha)**





## こげらの庭

ビオトープを配した「居住者に身近な憩いの場」です。小鳥や昆虫のすみかを考えて、あえて枯れ木を設置しました。

## 仙石山プラザ

正面玄関となる複合棟の足元には、メタセコイアやくすのきなどの既存樹木を生かした緑の空間を配置しました。



## 大けやき広場

大きなけやきのシンボルツリーを植え、芝生の広場は、季節のイベントなどに利用されるにぎやかな場所になります。



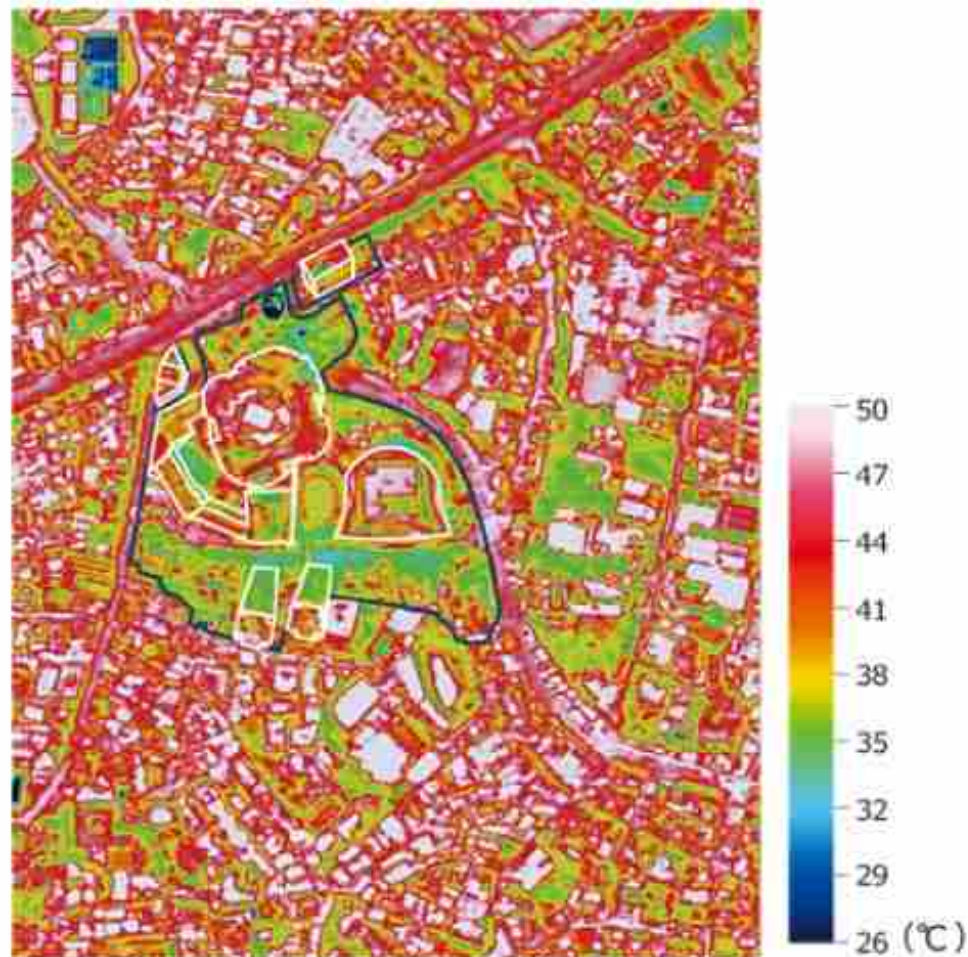
六本木ヒルズエリアの地表面温度は、  
周辺より5~10°C低くなっている。

東京の平均気温は、この100年で3.2°C上昇。

実写真



熱画像



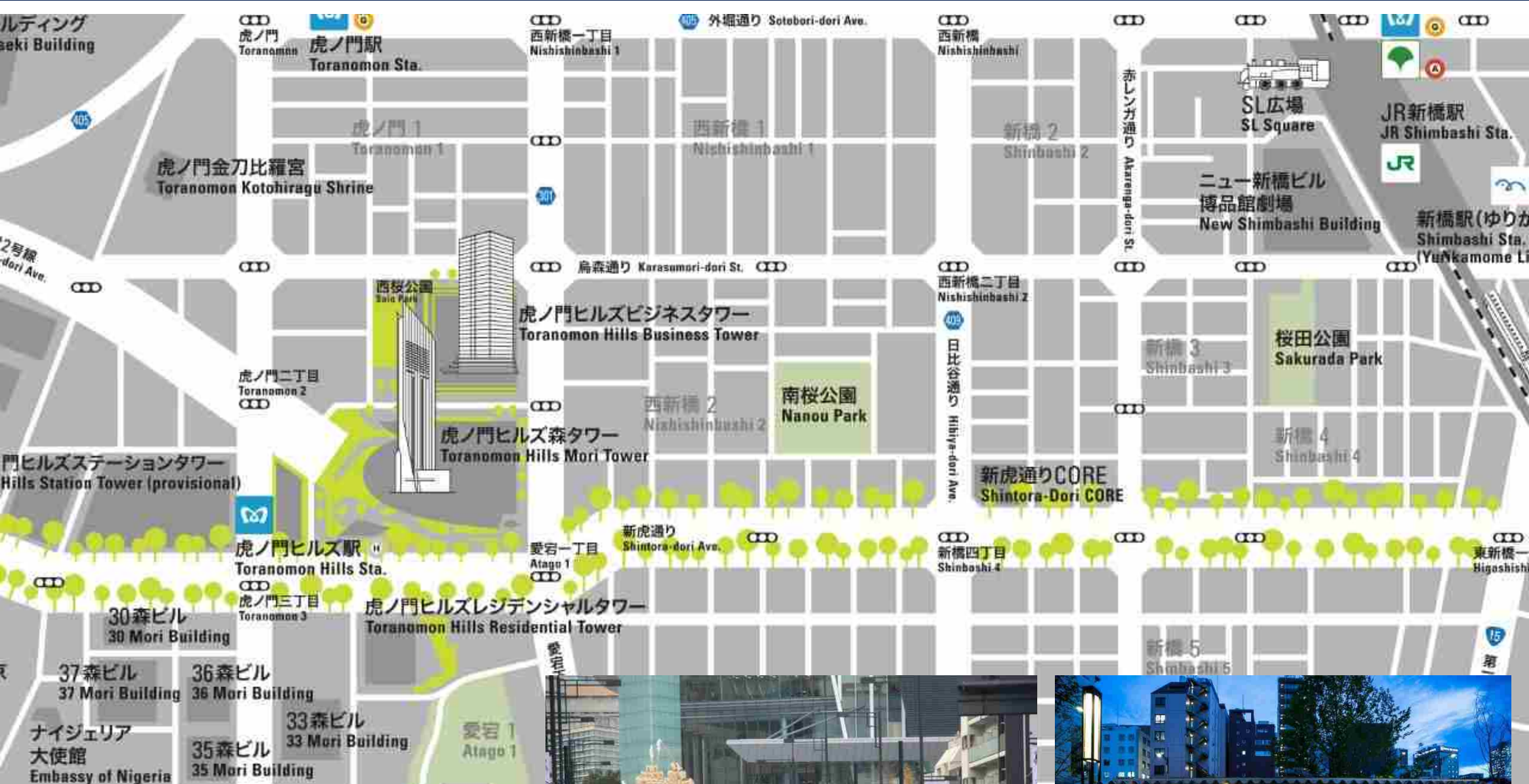


ウォーカブルなまちづくりへの課題











- **官民のパブリック空間（街路、公園、広場、民間空地等）**をウォーカブルな人中心の空間へ転換・先導し、**民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」**を形成
- これにより、**多様な人々の出会い・交流**を通じた**イノベーションの創出**や**人間中心の豊かな生活**を実現し、**まちの魅力・磁力・国際競争力の向上**が**内外の多様な人材、関係人口**を更に惹きつける**好循環**が**確立された都市**を構築

